

(別紙 3)

## 令 4 年度ふるさと創生 N P O 連携促進事業報告書

- ・当報告書は、基金のホームページ等で掲載する予定です。
- ・メールは、[info@mejiron.org](mailto:info@mejiron.org) へ送付するとともに提出の際は、タイトルを「令和 4 年度ふるさと創生 N P O 連携促進事業報告書」としてください。
- ・写真は、元データも一緒にメールでお送り下さい。

団体名	就労支援ボランティアグループ たんぽぽの会
<p>1. 事業内容について、進捗状況報告書をまとめるような形で記載してください。</p> <p>JR 上臼杵駅は大正 6 年（1917）開業の無人駅です。現在は、市内二王座地区から千代田区までの 9 自治会 1 2 0 0 世帯をかかえる南部地区振興協議会が臼杵市から管理を受託し、地域の交流拠点として活用しています。駅舎自体が大正時代の面影そのままなことから映画や各種 CM 撮影に使われるなど、観光資源としても注目されています。</p> <p>この駅舎を活用して、「たんぽぽの会」では、高齢者や認知症患者家族、引きこもりの青年、生活困窮者など各種制度のはざまにいる方々を対象に週 1 回、就業支援やサロン活動を行ってきました。しかしながら収入につながる事業には中々行き当らず、さらなる就労機会と収入の獲得を目指して、テイクアウト方式の駅カフェの設置を計画しました。</p> <p>スペース的には事務室と宿直室の間の倉庫として利用していたスペースの一部を活用して厨房とすることとしました。将来、文化財として指定したいとの意向が教育委員会から示されたことから、傷つけるところを極力少なくするように、業者さんと細かな打ち合わせを行いました。また、職人さんたちも腕を発揮していただき、昔ながらの仕事が見える仕上がりとなりました。</p> <p>提供するメニューについては、ユネスコ食文化創造都市での活動実績のある臼杵美食倶楽部からアドバイスを受けることができ「ぽっぽカフェ」ならではのメニューが開発できました。</p> <p>さらに、廃業した喫茶店から多くの厨房機器類、什器をいただくことができ、大いに助かりました。</p> <p>いろいろとトラブルもありましたが、多くの皆さんのお力添えで、「ぽっぽカフェ」は生まれました。これからは皆さんに愛されるスペースとして育てていきたいと思えます。</p>	
<p>2. 事業を実施している様子等が分かる写真を 4 枚以上添付してください。</p> <p>&lt;メニュー開発の状況①&gt;</p> <div data-bbox="164 1601 767 2051"></div> <div data-bbox="794 1601 1404 2051"></div>	

<メニュー開発の状況②>



<ぼっぼ Café (カフェ) >



3. 来年度以降、事業終了後も、その効果や結果が継続されるために、組織としてどの様に、体制や対応をしていくのかについて記載してください。

4月には保健所の営業許可を取得し、正式オープンとしたい。

カフェの運営については、当面、スタッフの体制が整うまで週1回の営業とするが、新たなスタッフを募集し、早急にオープン時間の拡充を図りたい。

また、当初はドリンク類6種程度からスタートさせるが、スタッフの確保次第で、本事業で開発したイート関係のメニューをスタートさせたい。